

モニタリング調査結果

種名： アズマイチゲ

調査者： NPO法人境川の斜面緑地を守る会

調査地： 上鶴間

調査期間	気づいたこと
2018年1月 ～2018年4月	今年は開花時期が早いかと思われたが、平年並みだった。調査区では49個の開花があり、昨年と同水準。南東方向に新たに飛地的な生育地③が増え、それぞれの飛地生育地の開花数は①5個、②8個、③4個だった。栄養繁殖だけでなく種子でも分布を広げていることが分かる。
2019年1月 ～2019年4月	暖冬だったが極端な少雨のためか開花は遅かった。調査区では開花数49個で昨年と同水準だったが、群生全体では開花数がかなり少なかった。また群生が東側に移動している。飛地生育地の開花数は①4個、②4個、③1個と昨年より少なかった。
2020年1月 ～2020年4月	1月上旬に開花。寒い中で開花した個体は1ヶ月以上花卉を散らさずに咲き続けた。開花数は調査区で62個と昨年より多い。飛地生育地の開花数は①2個、②0個、③1個と少なかったが、③では葉の数が大幅に増えている。初めて全開花数（蕾および咲き終わった花は除く）をカウントしたところ750個ほどで、総開花数は1000を超えているものと思われる。
2021年1月 ～2021年4月	2月上旬に開花。満開は3月の頭。調査区の開花数は166個と急増した。樹木の伐採で日照が改善したためと思われる。飛び地の開花数は、①0個、②2個、③0個で、3地点とも芳しくない。飛び地③は昨年葉が増加し、今年の開花を期待したが開花は見られなかった。
2022年1月 ～2022年4月	昨年12/12に早々と1個開花。2/12に1個咲き始め、2/16に5個。調査地アブラチャン下、一昨年66個、昨年166個、今年20個。飛地の開花数は①平坦地2個、②河標1個、③その奥0個。総数は3月12日に135個だった。開花数は例年の20%～30%と極端に少ない。
2023年1月 ～2023年4月	2/4→1個。2/16→5個、2/19→45個。調査区根元総数33。飛地①平坦地1、②河標0③奥3。総数3/6約200。2/20～26寒気で開花の進みは遅かった。3月6日から4日連続20度超えて花が弱り、緑の葉があまり出ず花が終了。
2024年1月 ～2024年4月	2/1蕾5、2/11(11°C3分開き)5、2/15(17°C)17、2/20(23°C)62、調査区根元36、飛地①7(結実4)②0③1総数85(3/1)3/4葉が緑に、茎伸びる。3/11以後終盤、3/16迄花あり。 総数激減。飛地①のみ増加。生育地での減少が続くのは飽和状態なのでは？気温が高く咲き進むのが早かったが、2月下旬の寒気と雨で休止。3月半ばまでもつ。葉が発生した場所を大事にする。
2025年1月 ～2025年4月	2/16蕾3、2/26開花を確認。3/10まで増える。調査区根元36、飛地①4(結実)②1(3/10蕾、3/20開花)③0。総数85(3/14)。2月に寒気が入り、蕾があがってくるのが遅かった。昨年とほぼ同数。花と葉ともに南東方向に移動。15度以上になる日が少なく、なかなか花が開かなかったが、長くもつた。葉が十分光合成できるように、日陰にするアブラチャンを冬に根元から伐採したり、剪定したりする。